

ColdFusion Day 2012

2012.10.17



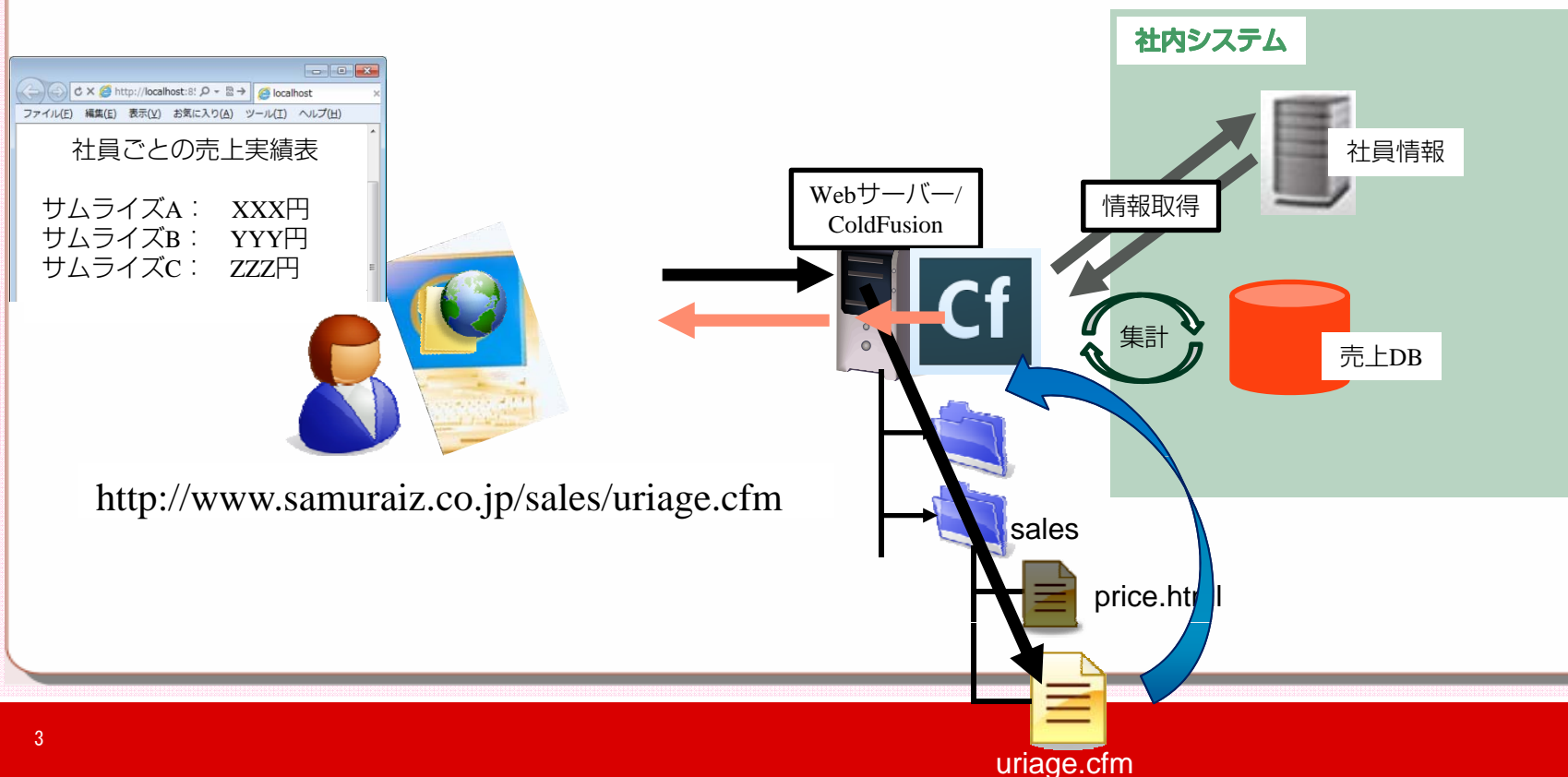
SESSION 1	14:00~14:20	難しい事を簡単にする「Adobe® ColdFusion®」とは? 株式会社サムライズ
SESSION 2	14:20~14:40	事例紹介 -1- エン・ジャパン株式会社 情報システム部 本橋 優樹 氏
SESSION 3	14:40~15:00	事例紹介 -2- 鹿島建設株式会社 ITソリューション部 グループ長 角川 友隆 氏
SESSION 4	15:15~15:45	事例紹介 -3- 株式会社フェリシモ マーケティング本部 eビジネス部 部長 島 重仁 氏
SESSION 5	15:45~16:25	ColdFusionをパワーアップするAWSクラウドのお話 アマゾン データ サービス ジャパン株式会社 ソリューションアーキテクチャ本部 ソリューションアーキテクト 北迫 清訓 氏
SESSION 6	16:35~16:55	ColdFusionを活かすシステム企画をリーンスタートアップに学ぶ クラスメソッド株式会社 マーケティンググループ マネージャー 高原 將志 氏
SESSION 7	16:55~17:15	CA APMによるパフォーマンスの可視化 株式会社サムライズ
SESSION 8	17:15~17:35	CF都市伝説 JCFUG 河野 俊之 氏、木戸間 周平 氏

ColdFusionとは？



Adobe ColdFusion

Webサーバーと連携して機能を拡張し、動的な処理を行うWebサイトを「より迅速に・より短い期間で・より少ない開発工数で」作る事ができる機能が揃ったWebアプリケーションサーバー



HTMLとの高い親和性

■ Web開発のために誕生したColdFusion

- Webページの作成で用いられるHTMLに似た形でColdFusionのプログラミングが出来る

- HTMLの基本を覚えた方の次のステップとして最適
- 約150のCFタグが装備
- 400を超えるCF用の関数が装備
- JavaScriptに似たスクリプト記述もサポート

HTMLタグ

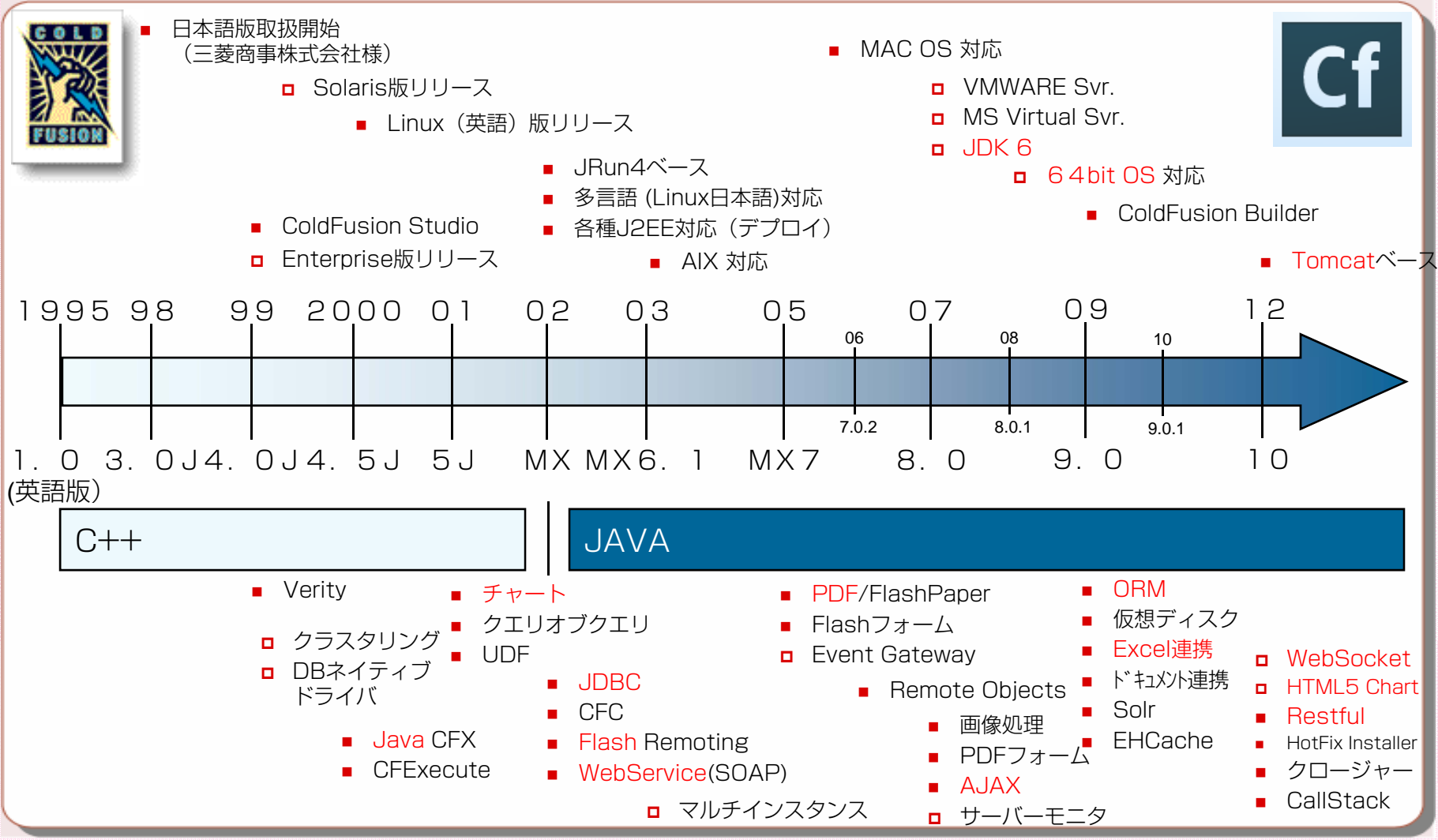
<p>,

<div>,
<h1>,<h2>,<h3>
<body>
,<object>
...

CFタグ

<cfset>,<cfoutput>
<cfquery>
<cfform>,<cfinput>
<cfif>,<cfelse>,<cfelseif>
<cfinclude>
<cflogin>,<cfloginuser>
<cflocation>
...

Webのトレンドを取り入れ15年を超えた進化

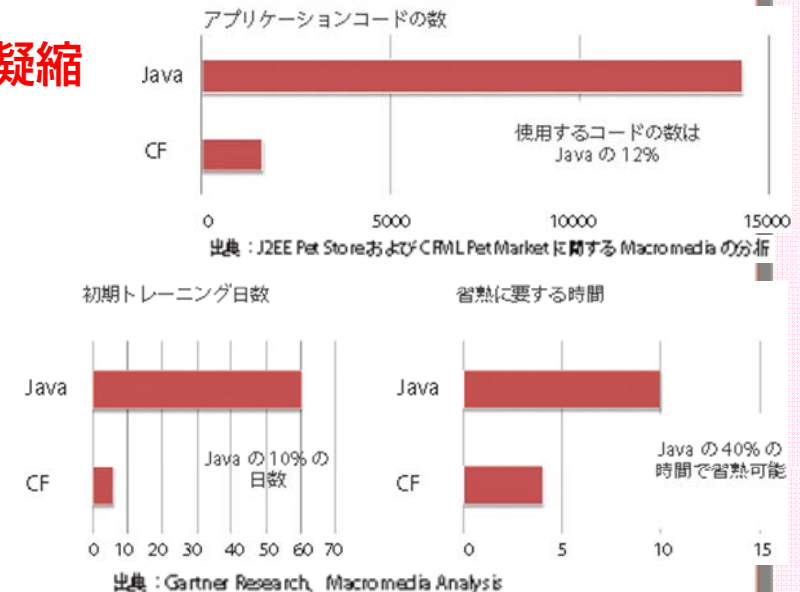
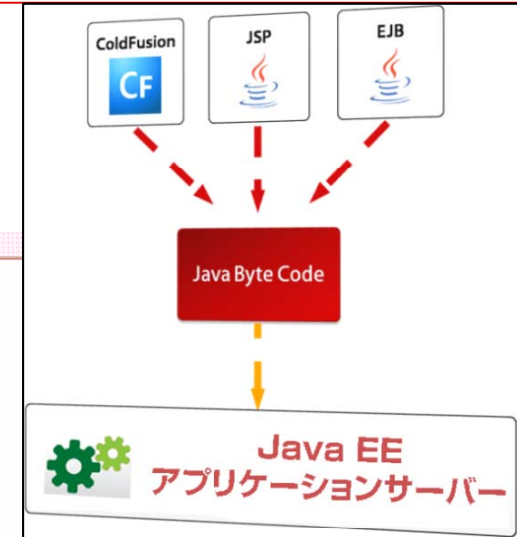


ColdFusionを採用するメリット① (エンジン) Javaのパワーを活用できる

■ Apache TOMCATをエンジンとして動作

- Webアプリケーションの開発をよりスマートに
 - 複雑な要素を排除しつつ
 - 高い生産性：RAD (Rapid Access Development)
 - 高いメンテナンス性
- 複雑なビジネスロジックもタグや関数に凝縮
 - 開発コスト・期間↓
 - メンテナンスコスト↓
- 習得のし易さが第一
 - 始めるまでのハードルを低く
 - 検討から結果を出すまでの時間を短く
 - 誰かではなく誰もが活動し易い

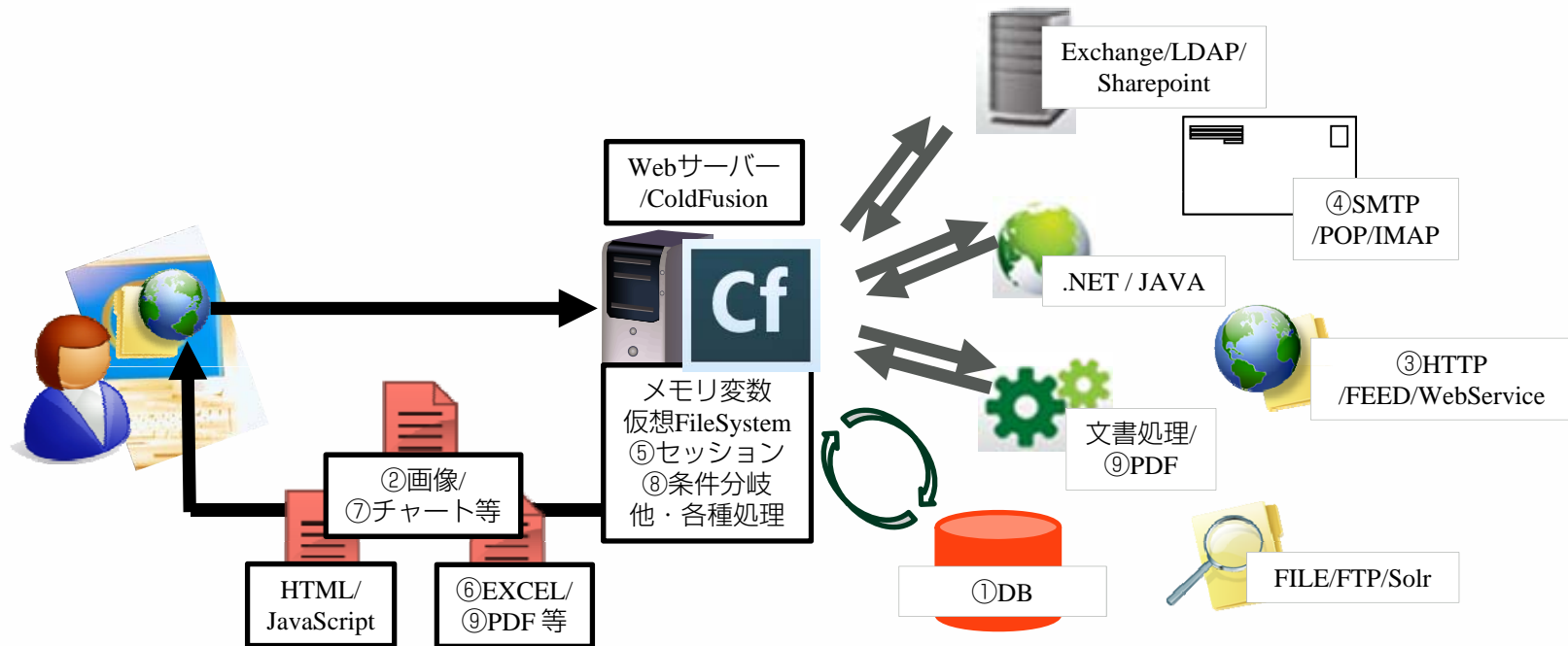
要点を絞り、やりたい事を時間をできるだけかけずに、始める！！



ColdFusionを採用するメリット② (動的Webサイト開発)

生産性の高さを実感できる

- 用途に応じたCFタグや関数で動的Webサイトを作成
 - 150個を超えるCFタグ・関数も400個以上
 - さまざまなシステムとの連携もColdFusionで一元して管理



(参考) CFのタグは直感的！

① DBからデータを取得したい

```
<CFQuery datasource="xx"  
  name="qData"> SQL文 </CFQuery>
```

② 画像を処理したい

```
<CFImage ...>  
#ImageGrayScale(MyImage)#
```

③ 別サイトにリクエストして情報を取得したい

```
<CFHttp url="http://samuraiz.co.jp" ...>
```

④ メールを送信したい

```
<CFMail to="宛先" From="差出人"  
  subject="お知らせ">メール文</CFMail>
```

⑤ ログインを制御したい

```
<CFLogin>～認証処理～ <CFLoginuser  
  ...></CFLogin>
```

⑥ Excelからデータを抽出したい

```
<CFSPREADSHEET action="read"  
  src="xlsファイル" query="qExcel" >
```

⑦ グラフを表示したい

```
<CFCHART format="flash">  
  <cfchartseries type="bar" query="q" ... >  
</CFCHART>
```

⑧ 条件によって処理を変えたい

```
<CFIF 条件式>  
  一致  
<CFELSE >  
  不一致  
</CFIF>
```

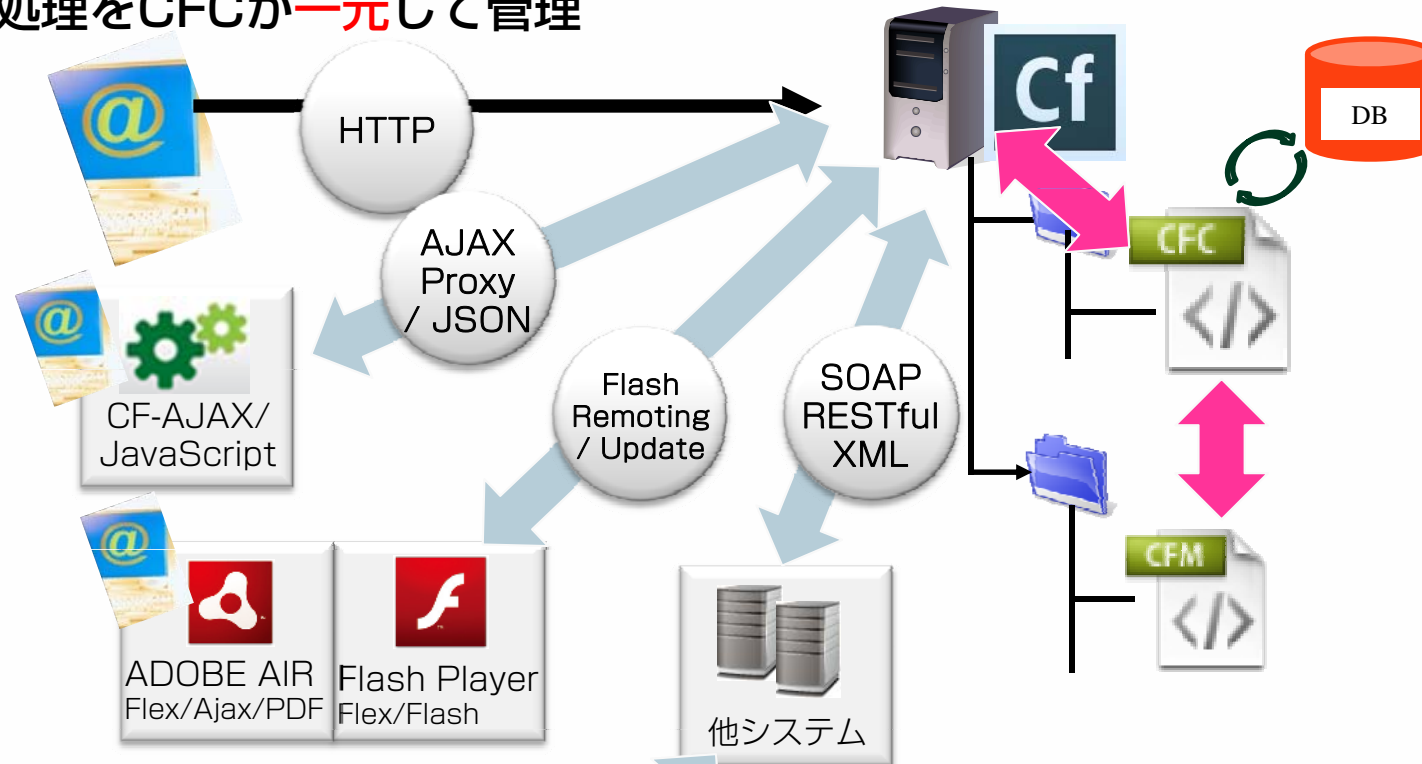
⑨ HTMLをPDFで出力したい

```
<CFDOCUMENT format="pdf">  
  (HTMLコンテンツ)  
</CFDOCUMENT>
```


ColdFusionを採用するメリット③ (サーバー処理に特化)

ワンソース・マルチユースを推進できる

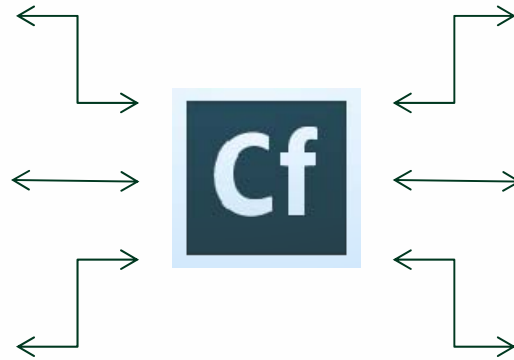
- ColdFusionコンポーネント (CFC) を使ってデータアクセスなどサーバー側の関連する処理をカプセル化
 - プレゼンテーション層との分離だけでなく、複数の規格・デバイスからの処理をCFCが一元して管理



ColdFusionを採用するメリット④ (拡張性)

さまざまな方法で機能を拡張できる

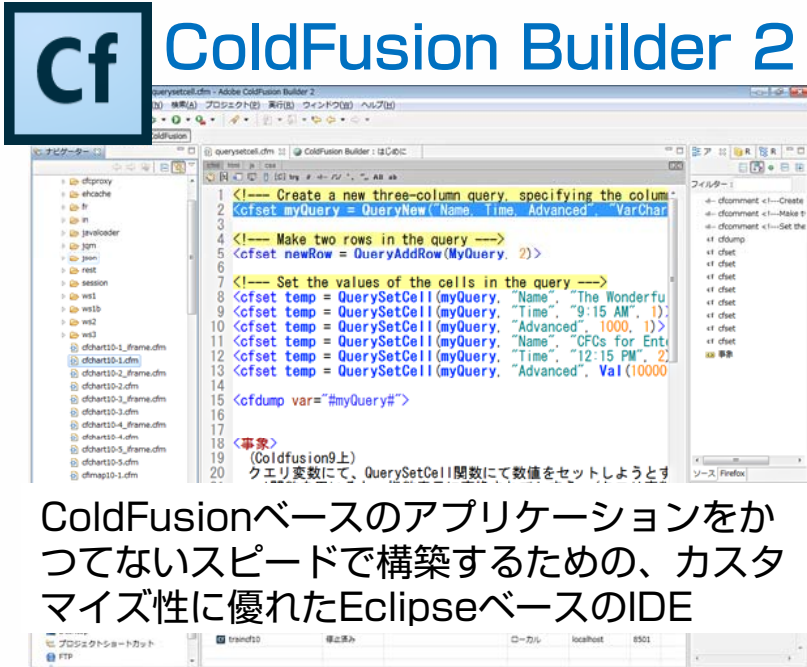
■豊富な拡張性



- CFタグや関数を組み合わせて、独自のCFカスタムタグやユーザー定義関数(UDF)として再利用する
- JavaやC++ベースのカスタムタグ(CFX)として登録し、CFの機能を拡張する
- Javaのライブラリなどを読み込みCFから呼び出す
- <CFHTTP>で外部のWebページをリクエストして情報を読み込む
- 外部で公開されているWebサービス(SOAP/RESTful)を読み込む
- .NETを呼び出し、利用する
- 他

ColdFusionを採用するメリット⑤ (開発の効率化)

専用エディタでもテキストエディタでも開発できる



Cf ColdFusion Builder 2

```
1 <!-- Create a new three-column query, specifying the column -->
2 <cfset myQuery = QueryNew("Name, Time, Advanced", "VarChar")
3
4 <!-- Make two rows in the query -->
5 <cfset newRow = QueryAddRow(MyQuery, 2)>
6
7 <!-- Set the values of the cells in the query -->
8 <cfset temp = QuerySetCell(myQuery, "Name", "The Wonderfu
9 <cfset temp = QuerySetCell(myQuery, "Time", "9:15 AM", 1)
10 <cfset temp = QuerySetCell(myQuery, "Advanced", "1000, 1")
11 <cfset temp = QuerySetCell(myQuery, "Name", "CFs for Enti
12 <cfset temp = QuerySetCell(myQuery, "Time", "12:15 PM", 2)
13 <cfset temp = QuerySetCell(myQuery, "Advanced", "Val(10000
14
15 <cfdump var="#myQuery#"
16
17
18 <!-- 事実 -->
19 (Coldfusion9上)
20 クエリ変数にて、QuerySetCell関数にて数値をセットしようとす
```

ColdFusionベースのアプリケーションをかつてないスピードで構築するための、カスタマイズ性に優れたEclipseベースのIDE

Dreamweaver

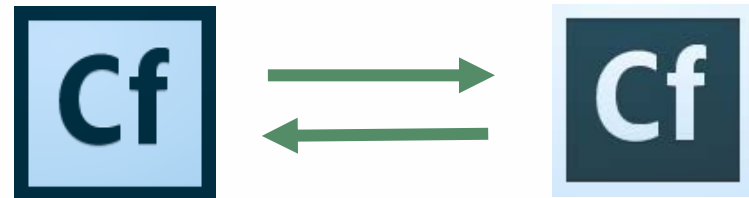
+ ColdFusion拡張機能

Webデザイナーを中心に幅広い支持を受けている Dreamweaver でも、拡張機能をインストールすることで効率よく開発するための機能が提供

任意のテキストエディタ・HTMLエディタ

ColdFusionのプログラム方法は、通常のHTMLのページの作成と同様。CFタグや関数を覚えているのなら、開発エディタの力をかりずテキストエディタでコードを記述できる。

RDS(Remote Development Service)
ColdFusion BuilderとColdFusionを連携し、開発エディタ上でColdFusionからアクセス可能なデータベース構造を見るなど連携が可能



まとめ

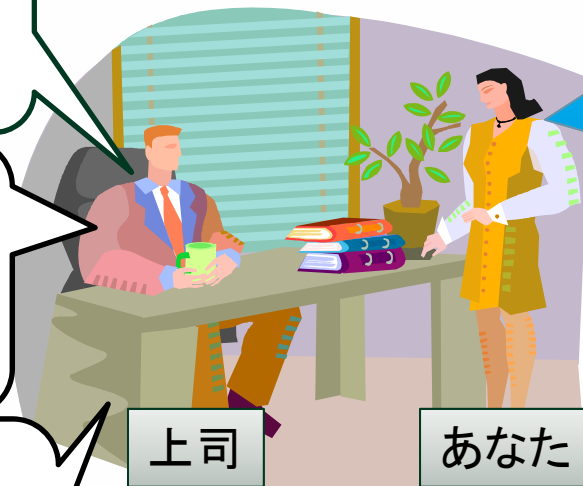
■ ColdFusionを使うメリット

- Webアプリケーションの開発をスピード感と簡単さを持って
- 提供するサービスに応じて、全体、あるいはビジネスロジック層に特化するなど柔軟に
- 自分たちがやりたいと思う形を自分たちで形にしていける

売上のデータを
月別にまとめて

印刷しやすいよう
PDFにして

あ、やっぱり
部内のメンバーに
メールして



上司

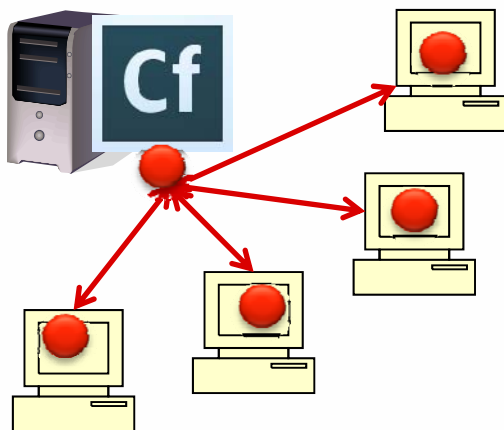
あなた

えっとー、
<CFQUERY>を
<CFDOCUMENT>して
<CFMAIL>すれば
良いんですね。

ColdFusionでできること 最先端のWeb体験

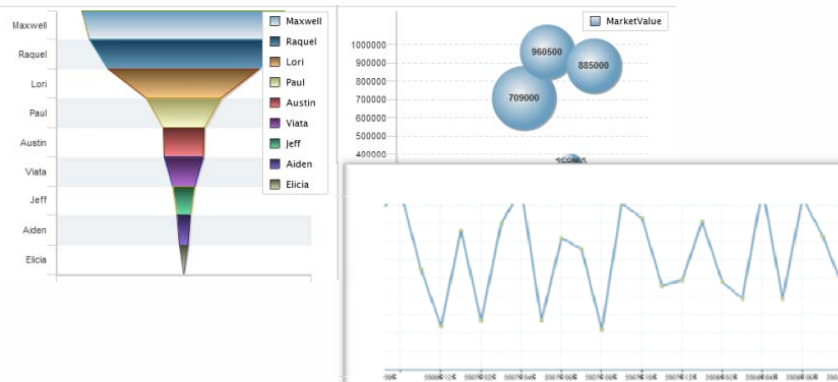


■ Web Socket (Standardは動作制限あり)



サーバーから複数のクライアント、あるいは一人のクライアントから複数のクライアントへのデータのプッシュが可能となり、株式やチャートなど様々な目的のためのリアルタイムアプリケーションの開発が可能

■ HTML5チャート (Enterprise)



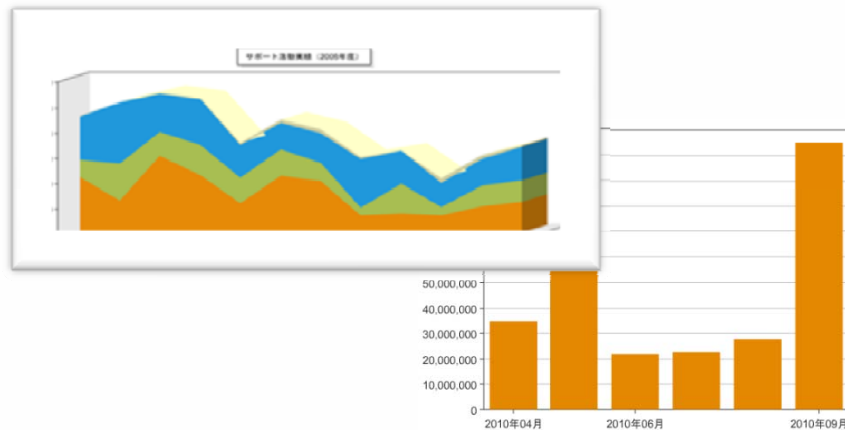
■ CFMAP Geolocation



<cfmap>に、Geolocationによるgoogle mapの現在地点を表示

ColdFusionでできること 視覚効果

■ チャート



■ 画像処理

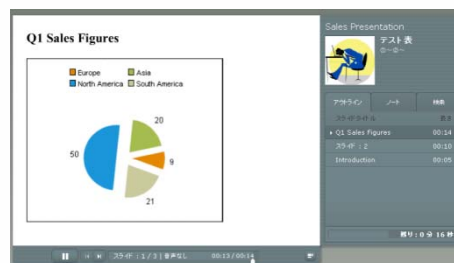


■ メディア プレイヤー



HTML5ベース/Flashベースのメディアプレイヤーが搭載。プレイヤーの制御等も可能

■ その他



プレゼンテーション機能

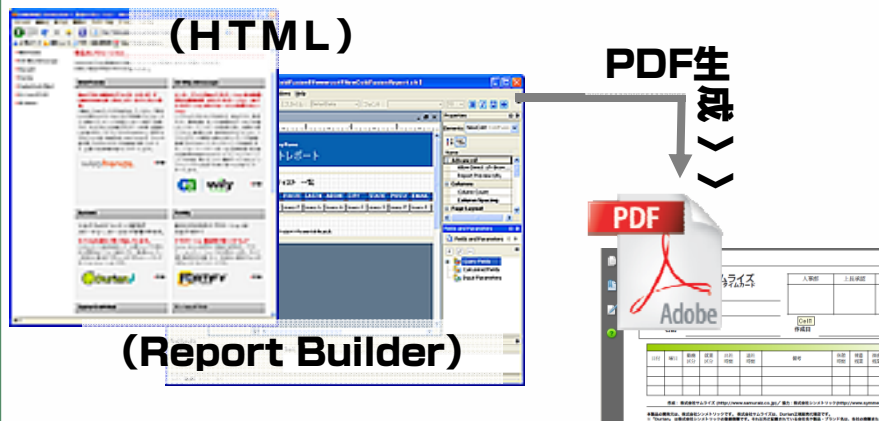


PDF画像生成

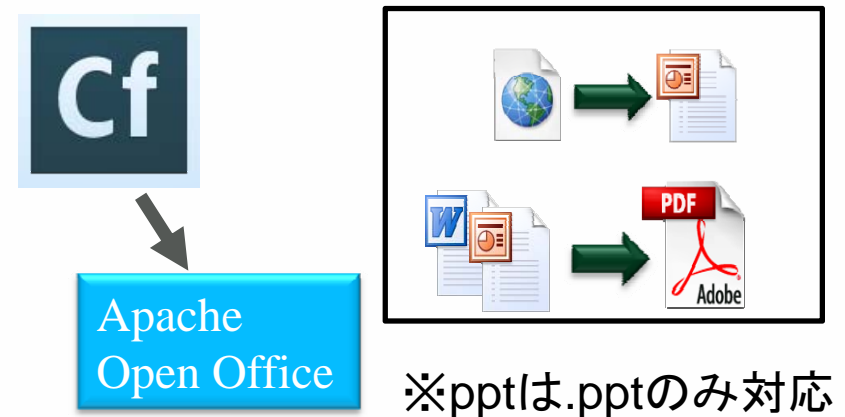
ColdFusionでできること

ドキュメント機能

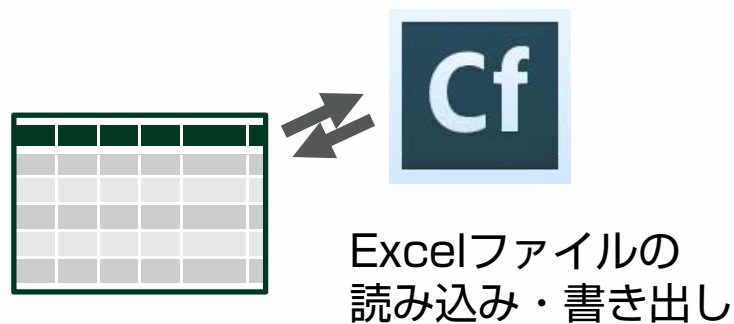
■ PDF生成



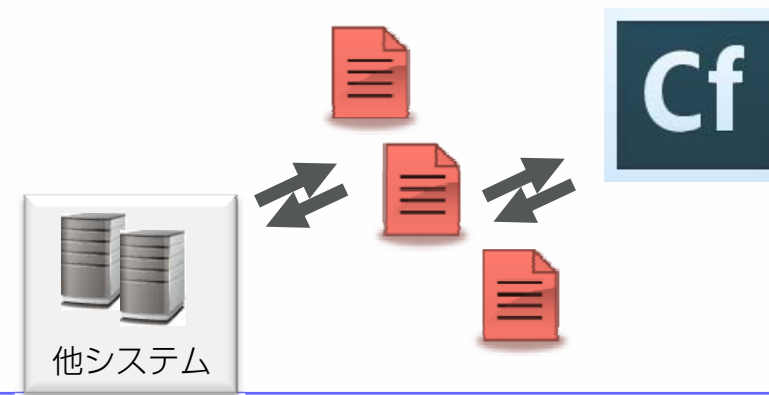
■ ドキュメント変換



■ Excelスプレッドシート



■ XML, JSON, テキスト(CSV)

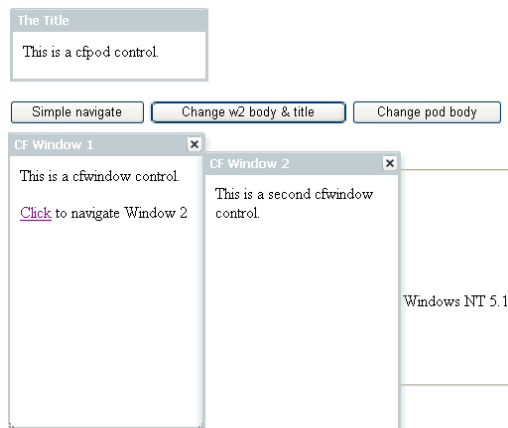


ColdFusionでできること

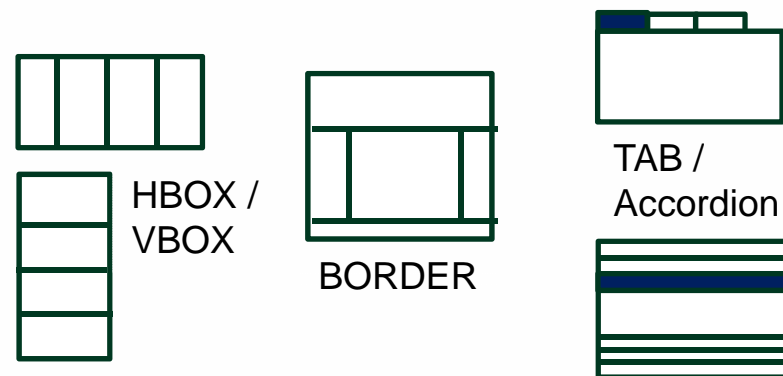
AJAX・RIA

■ レイヤー・ウィンドウ

div、pod、window、toolbox などブラウザ内に表示し、Ajax処理と組み合わせ



■ AJAXレイアウト



■ AJAX

eid	Name	Email
1	Carolynn	CPETERSON
2	Dave	FHEARTSDALE
3	Linda	LSTEWART
4	Aaron	ASMITH
5	Peter	PBARKEN

Navigation controls: < < < ページ 1 / 3 > > >

ExtJS 3.1を内包し、Ajaxベースアプリ・ツリー・アコーディオン等のコントロールが可能

■ Flex/AIR



サーバーサイドのビジネスロジックをColdFusionが受け持ち、フロントのプレゼンテーション層で動作する Flex や AIRと連携

ColdFusionでできること

サーバー機能①

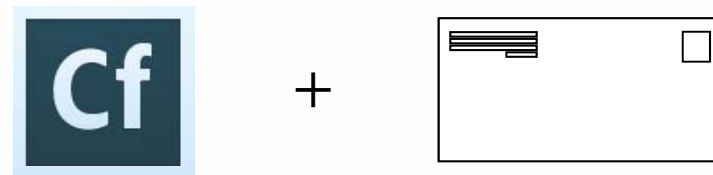
■ SQL



データベース言語 SQLを使用可能。データベースから取得したデータをさまざまな形で処理が可能

■ メール送信・受信

従来のメール機能 (POP/SMTP) に加え、IMAP機能によるメール操作も可能

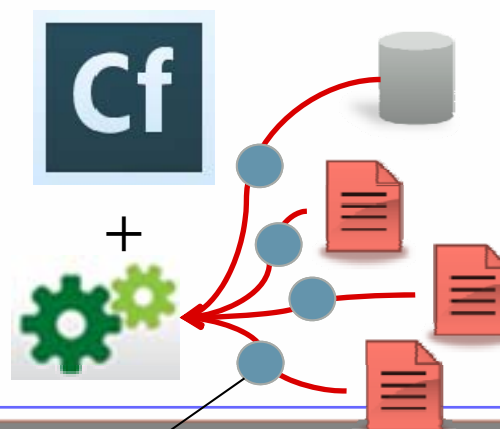


■ ORM



SQLを使用せずにデータベース処理
データベース非依存のアプリケーションを構築

■ apache Solr



Lucene Java
検索ライブラリ
をベースとした
全文検索システム

キーワード抽出

CFタグや関数にさまざまな機能を凝縮 サーバー機能②

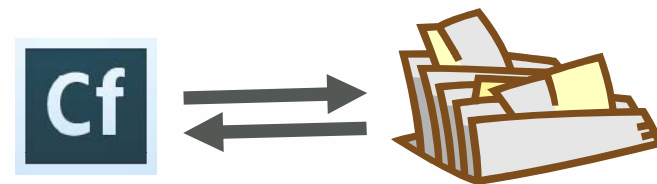
■ 仮想ファイルシステム



ColdFusionのメモリ内に仮想ファイルシステムを構築。メモリ内CFMファイルのインクルード、CFCファイルの呼び出しも可能

■ Amazon S3 連携

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用しファイルの入出力が可能

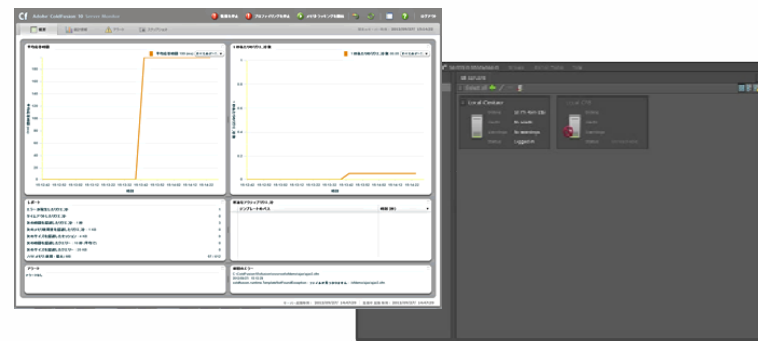


■ キャッシュ機能



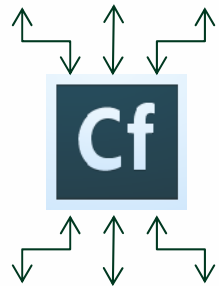
更新頻度の低いページの全体・一部をメモリ内などにキャッシュし、パフォーマンスを改善。
クエリオブジェクトをキャッシュし、データベースへの処理回数を削減。

■ サーバーモニター (Enterprise)



CFタグや関数にさまざまな機能を凝縮 サーバー機能③

■ CFSaaS



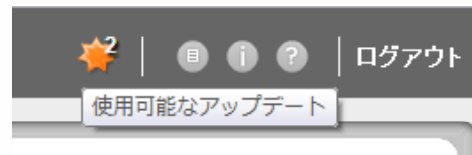
予めサービスが用意され、FlexアプリケーションやSOAPから呼び出すことで、CMFLを1行も書かずに、チャートやPDFドキュメントの作成、画像の操作、メール送信といった機能の実行が可能

■ Webサービス(SOAP, RESTful)

従来のSOAP形式に加え、REST形式のWebサービスの呼び出しや、CFCをそれらサービスとして公開することが可能

 + **AXIS2**
+ **RESTful**

■ ColdFusion Administratorでの製品アップデート



パッチや修正プログラムのリリース確認・インストールをColdFusion Administratorから実行可能。メンテナンス性の向上と、最新の状態で動かし続けることが可能。

■ タスクスケジューラー

サーバーレベルでスケジュールされたタスク

アクション	グループ	タスク名	期間	間隔	最後の実行
	DEFAULT	BBBB	2012/04/19 - 無期限	2 mins 0 secs	7/15/2012 6:40:00 午後
	DEFAULT	CFTRACKER	2012/07/11 - 無期限	5 mins 0 secs	10/4/2012 11:45:00 午前
	DEFAULT	TEST	2012/04/19	ONCE	非実行
	DEFAULT	TEST2	2012/02/01 - 無期限	10 mins 0 secs	非実行

従来の1回のみ、毎日、毎週などの実行間隔に加え、グループなど機能を大幅に強化

ColdFusion 10 ライセンス体系

■ ライセンスの体系

- 有償ライセンス

- Enterprise版
- Standard版

- 無償ライセンス（商用利用不可）

- 体験版（トライアル版）
 - エンタープライズ版の機能すべてを搭載。
 - 30日間利用が可能（30日経つと自動的にデベロッパー版に変わる）
- デベロッパー版（開発者版）
 - テストと開発を目的とした使用にのみ利用可能なライセンス
 - 接続可能なIPアドレスが2つに制限

■ ライセンスの適用範囲

- 以下の3構成で、Standard / Enterprise ライセンス適用範囲を設定

- オンプレミス（自社運用・自社管理下設備での機材の運用）
- オンプレミスで仮想環境を構築された上でのご利用
- クラウド環境

ロードマップ

■ ColdFusionの開発は継続中

2012.10現在、ColdFusion次期・次々期バージョンのロードマップがアドビ システムズ社のWebサイトで公開中

- ColdFusion製品ページ（現時点で英語ページのみ）に、RoadMapに関する資料へのリンクが記載。
<http://blogs.coldfusion.com/assets/content/roadmap/ColdFusion%20RoadMap.pdf>
- 引き続き、新機能の追加などが計画。

11月開催 CFスタートアップセミナー

■ ColdFusionスタートアップセミナー

基礎的なプログラミングの様子をデモンストレーションでご紹介します。

- 対象者：技術者・デベロッパー
- 日時：2012年11月14日（水） 15:00～17:00
- 場所：アドビ本社会議室（東京・大崎）



えっとー、
<CFQUERY>を
<CFDOCUMENT>して
<CFMAIL>すれば
良いんですね。

- 申し込みURL：
<http://www.samuraiz.co.jp/event/121114cf.html>

ありがとうございました

株式会社サムライズ

アドビソフトウェア事業部 ColdFusion ビジネスユニット

〒104-0053 東京都中央区晴海3-2-22 晴海パークビル

TEL: 03-5548-8822

E-mail: adobe_software@samuraiz.co.jp

※サムライズのホームページでColdFusionに関する情報を公開中

<http://www.samuraiz.co.jp/coldfusion/>

(ColdFusion カフェテリア) <http://forum.samuraiz.co.jp>

(ColdFusion Associate) <http://cfassociates.samuraiz.co.jp>

ColdFusion は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)
の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名や製品ブランド名は、各社の商標または登録商標です。